

波・メール通信句会

第79回 令和七年十一月

富山ゆたか

千年の礎石に今朝の落葉降る
小春日や未来の走る幼稚園

参道におかめ行き交ふ西の市
かくれんぼひとり残され秋の暮

大平 政弘
霧野萬地郎
坂本 弘道
岡坂 ゆう子

山崎 美紀
飯野 深草
亀倉美知子
廣田 洋々

小春日や未来の走る幼稚園
子供の成長を「未来」と表現された所が憐い!
明るく好感の持てる句である。
(山下遊児)

参道におかめ行き交ふ西の市
西の市で買った、おかめのお面を被った人たち

十三夜黒のマントを広げ海
花野には幾千万の悔悟あり

帆川 透
伊藤真理子
菅谷 瞳

参道におかめ行き交ふ西の市
坂本 弘道

十六夜のマントを広げ海
花野には幾千万の悔悟あり

山崎 美紀
閔 美晴
中出 隆義

参道におかめ行き交ふ西の市
坂本 弘道

十三夜黒のマントを広げ海
花野には幾千万の悔悟あり

山崎 美紀
閔 美晴
中出 隆義

参道におかめ行き交ふ西の市
坂本 弘道

十三夜黒のマントを広げ海
花野には幾千万の悔悟あり

山崎 美紀
閔 美晴
中出 隆義

参道におかめ行き交ふ西の市
坂本 弘道

十三夜黒のマントを広げ海
花野には幾千万の悔悟あり

山崎 美紀
閔 美晴
中出 隆義

参道におかめ行き交ふ西の市
坂本 弘道

主宰特選三句

蔵王嶺の白がまばゆし青鷹

富山ゆたか
富山ゆたか

主宰入選五句

聴いてやることが癒しや冬ともし

鎌田 紀三男
鎌田 紀三男

戯れる葉音も楽し夜長かな

山田 節子
山田 節子

山河あり海あり野あり渡り鳥

千乃 里子
千乃 里子

冬紅葉転ばぬやうに手を繋ぎ

稻吉 豊
稻吉 豊

ピアノ弾く指透きとおる冬はじめ

風野 でら
風野 でら

冬の訪れ。中七に白く長い指の動きが纖細な音

山口青邨の「銀杏散るまつただ中に法科あり」の

銀杏散るは、学問を志す学生の士気を鼓舞う姿と

解すると、死して故郷に還った藤原旅子を祭る還

来神社(大津市)の銀杏は、死者が故郷に還ること

を祈願して散っていると解したい。(富山ゆたか)

会員選評より

山河あり海あり野あり渡り鳥

千乃 里子
千乃 里子

渡り鳥の眼下に見える景色が次々と展開します。

「あり」の繰り返しのリズムが口遊むと心地よく

ひびきます。

(坂本弘道)

晴着着て抱っこねだる子七五三

山崎 美紀
山崎 美紀

三歳子ですか。まだまだ赤ちゃんですね。

(坂本弘道)

還來のやしろ銀杏の散りやます

飯野 深草
飯野 深草

山口青邨の「銀杏散るまつただ中に法科あり」の

銀杏散るは、学問を志す学生の士気を鼓舞う姿と

解すると、死して故郷に還った藤原旅子を祭る還

来神社(大津市)の銀杏は、死者が故郷に還ること

を祈願して散っていると解したい。(富山ゆたか)